



2023年3月24日

＜地方創生への取り組み＞

「観光遺産産業化ファンド」による投資案件および
「観光振興と地域活性化推進に関する連携協定」の締結について

株式会社百五銀行（頭取 杉浦 雅和）は、2023年3月17日（金）、当行が出資する観光遺産産業化投資事業有限責任組合（「観光遺産産業化ファンド」）において、阿津里浜リゾート開発株式会社（代表取締役 世古 勝：3月18日に志摩まちづくり株式会社へ商号変更）へ投資いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

本ファンドの投資案件は第16号目となりますが、志摩市への投資は初めてとなります。

また、今回の投資実行にともない本日、当行は志摩市、志摩まちづくり株式会社等と共同で、「観光振興と地域活性化推進に関する連携協定」を締結いたしました。

今回の投資ならびに連携協定は2020年11月、三重県、株式会社第三銀行（締結当時／現：株式会社三十三銀行）、桑名三重信用金庫、地域経済活性化支援機構（REVIC）と締結した「三重県における観光による地域活性化」に関する連携協定の一環として行うものです。

当行では、これまで伊勢市、鳥羽市、志摩市を核に「伝統文化・自然遺産等を活用した観光による地域活性化」の実現に向けた取り組みを協働で県内に広く推進してまいりましたが、今後も三重県内の観光産業の活性化による持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

記

1 観光遺産産業化ファンドによる投資内容

(1) 目的

観光客の特定エリア（施設）への集中、2次交通網の整備や市全域に広がる自然景観や体験施設などその魅力を伝える発信力など、市が抱える課題を解決するため、関係機関と連携し、観光客がより深く志摩の自然に触れる機会を提供し、志摩エリア全体の魅力の底上げを図る。

(2) 投資先概要

会社名	志摩まちづくり株式会社 (3月18日に阿津里浜リゾート開発株式会社から商号変更)	
所在地	志摩市志摩町越賀 2279 番地	
役員	代表取締役社長	世古 勝 (志摩市副市長)
	代表取締役 CEO	番匠 宏明 (REVIC)
	取締役	出口 勝美 (志摩市商工会会長)
		西尾 新 (志摩市観光協会会長)
		佐藤 達夫 (REVIC)
	監査役	廣瀬 吉之 (百五銀行鶴方支店長)
		田中 圭 (三十三銀行鶴方支店長)
事業内容	(1) オートキャンプ事業 (志摩オートキャンプ場) (2) 志摩市の観光振興に関連する企画・広告・宣伝 (3) 地域振興に関する研究・開発・市場調査・販売 など	

2 「観光振興と地域活性化推進に関する連携協定」について

(1) 目的

全当事者が相互に密接な連携を図り、および協働することにより、地域の諸課題に迅速かつ的確に対応し、志摩市の観光施策と地域活性化を図ることを目的とする。

(2) 概要

締結日	2023年3月24日（金）
連携協定者	百五銀行、志摩市、志摩まちづくり株式会社、株式会社中日新聞社、大起産業株式会社、一般社団法人志摩市観光協会、志摩市商工会、株式会社三十三銀行、桑名三重信用金庫
連携事項	(1) 観光やブランド振興・文化に関すること (2) 地産地消や食育に関すること (3) 志摩市の情報発信や施策 PR に関すること (4) 自然環境の保全や生活環境対策に関すること (5) その他必要と認められる事項

以上

【ご参考】

観光遺産産業化ファンドの概要

名称	観光遺産産業化投資事業有限責任組合（観光遺産産業化ファンド）
ファンド総額（予定）	30億円
組合構成員	百五銀行、北洋銀行、岩手銀行、横浜銀行、山梨中央銀行、ゆうちょ銀行、滋賀銀行、栃木銀行、足利銀行、静岡銀行、三島信用金庫、紀陽銀行、京都信用金庫、三十三銀行、桑名三重信用金庫、福井銀行、株式会社観光産業化投資基盤
設立日	2019年6月19日
存続期間	8年間
業務運営者	株式会社観光産業化投資基盤

